



(写真) Flight Radar 24 “米戦闘機2機がスリア州空域を飛行、追跡レーダーを遮断し、その後の消息不明”

2025年12月8日(月曜)

政治

- 「[パナマ マドゥロ大統領の亡命可能性を否定](#)」
- 「[ホンジュラス大統領選 米国関与を批判](#)」

経済

- 「[ベネズエラ航空業界の直近の動き](#)
～Trupial パナマ便を開始、Laser 西便を運航～」
- 「[Changan 2025年の新車販売55%増](#)
～26年初めに大型融資プランの提供目指す～」
- 「[ベネ専門家 米軍の軍事展開は景気後退を生む](#)」
- 「[カカオ栽培可能地 50%がボリバル州に集中](#)」
- 「[2025年の養鶏生産 前年比33.6%増](#)」

2025年12月9日(火曜)

政治

- 「[MCM ノーベル平和賞受賞式の参加可否不明](#)
～授賞式前日の記者会見は中止に～」
- 「[米国軍用機2機 ベネズエラ空域に侵入](#)」
- 「[国会 2026年度国家予算案を承認](#)」

経済

- 「[SUNDDE 小売店の為替レート表記を統一](#)」
- 「[マドゥロ大統領 輸出手続きの簡素化に署名](#)」
- 「[トゥルヒージョ州の Ceiba 15 鉱井 稼働再開](#)」

社会

- 「[ユネスコ “Joropo”を無形文化遺産に登録](#)」

2025年12月8日（月曜）

政治

「パナマ マドゥロ大統領の亡命可能性を否定」

マリア・コリナ・マチャド氏のノーベル平和賞受賞式出席のためノルウェーを訪れたパナマの José Raúl Mulino 大統領は、マドゥロ大統領やベネズエラ政府関係者の亡命を受け入れる可能性について記者から質問を受け、以下の通り回答した。

「具体的な話は何もない」

「私は過去にパナマが行ったように、その提案をした」

「これは極めて深刻な国際的な政治危機を解決するためのものだ」「しかし、この人物の傲慢さが彼を盲目にしているため、実現しないと考えている」

とコメントした。

また、「マドゥロ政権と連絡を取っているか？」との質問について「連絡を取っていない」と回答した。

他、2024年7月にベネズエラで行われた大統領選について「独裁政権に対するベネズエラ国民の大勝利」との認識を示した。

「ホンジュラス大統領選 米国関与を批判」

11月30日 ホンジュラスで大統領選が行われたが、現在は開票が止まっている。

特にホンジュラスの Xiomara Castro 現大統領が所属する左派政党 LIBRE の Rixi Moncada 候補および Salvador Nasralla 候補が詐欺やイレギュラーがあったと訴えており、混乱が生じている。

ホンジュラスの大統領選の主な候補は、与党左派「LIBRE」の Rixi Moncada 候補、保守右派「国民党」の Nasry Asfura 候補、中道「自由党」の Salvador Nasralla 候補

直近の報道では、開票率99.4%の時点で Nasry Asfura 候補が得票率40.52%（1,298,835票）、Nasralla 候補が同39.48%（1,256,428票）と拮抗しており、最終結果が発表されていない。

また、同19.3%を獲得した Rixi Moncada 候補は選挙での複数のイレギュラーを指摘。

Nasry Asfura 候補が票操作を行った可能性およびトランプ大統領による選挙介入などを理由に結果を認めないと表明している。

Xiomara Castro 現大統領も、今回の選挙で不正行為が行われたと主張。選挙の無効化を求めると同時に、支持者に対して、選挙結果を認めないよう呼びかけている。

なお、トランプ政権は、Nasry Asfura 候補の当選を支持。選挙にイレギュラーは確認できなかったとの認識を示している。

経済

「ベネズエラ航空業界の直近の動き

～Trupial パナマ便を開始、Laser 西便を運航～」

（これまでベネズエラの航空関連の動向について政治テーマとして扱ってきたが、政治的な側面が薄れてきたので当面は経済テーマとして扱う）

12月8日～9日にベネズエラの航空業界に関連して起きた動きは主に以下の通り。

・ Trupial : バレンシアーパナマシティ間の運航を開始

ベネズエラ系航空会社 Trupial Airlines は、12月15日から週2便でバレンシアーパナマシティの運航を開始すると発表した。

なお、Trupial は12月10日からボゴターカラカス間の運航を増便すると発表していた。

・ Laser : カラカスーマドリッド便は追加コストが必要

「ベネズエラ・トゥデイ No.1305」で紹介した通り、ベネズエラ系航空会社 Laser Airlines は、スペインの航空会社 Plus Ultra との共同便で、コロンビアのカルタヘナ経由マドリッド行き便を12月10日から開始する。

Laser Airlines でカラカスーマドリッド便を予約していた顧客は、カラカスーカルタヘナーマドリッド便に搭乗することが可能だが、この便の搭乗には追加コストとして225ドルが必要になるという。

・ Air Europa、Plus Ultra 直行便の運航を更に延期

スペイン系航空会社 Air Europa と Plus Ultra は、スペイン航空当局の指示を受けて、カラカスーマドリッド便の運航を一時停止すると発表していた。

本件について、Air Europa は12月12日～19日まで同便の運航停止を延長すると発表。

Plus Ultra については、12月31日まで運航停止を延長すると発表した。

なお、「ベネズエラの航空当局 INAC が Air Europa、Plus Ultra の飛行ライセンスを取り消した」との噂が報じられたが、「運航停止を延長」という発表から INAC は両社の飛行ライセンスを取り消していないと思われる。

**「Changan 2025年の新車販売55%増
～26年初めに大型融資プランの提供目指す～」**

中国の自動車メーカー「Changan Auto」がベネズエラに進出したのは2020年。5年間で急激に売上を伸ばしている。

経済系メディア「Bancaynegocios」によると、2025年のChangan Autoは2020年の参入以来、7000台以上を販売しており、ベネズエラの自動車シェア全体の8%を占めている。

また、「ベネズエラ自動車商工会（Cavenez）」の最新データによると、Changan Autoの2025年の新車販売台数は前年比55%増だという。

なお、現在ベネズエラでは、以下の3セグメント6車種を全国14の正規ディーラーで販売。車両および純正部品は、ヤラクイ州にある大型拠点から全国14都市へ配送されている。

SUV :

- CS35 Plus
- CS55 Plus
- CS95

ピックアップ :

- Hunter Plus ガソリン 4×4
- Hunter ディーゼル 4×2 / 4×4

セダン :

- Alsvin マニュアル

なお、全ての車両には15万キロ、5年保証、定期検査、即日対応の純正部品供給、アフターサービスなどが保証されている。

Changan Auto の Roberto Abreu 最高経営責任者（APB Group 社長）は、今後の目標として以下3本の柱を掲げている。

1. モデルの多様性と品質
2. 技術革新
3. 包括的なアフターサービス

技術サービスや純正部品の提供を重視しており、そのために純正部品のストックを2倍に増やしたと説明した。

また、Abreu 氏は、「金融アクセスの拡大こそ、今後の成長の鍵」と指摘。

2026年初めまでに全国規模の大型融資プランを提供できるよう金融機関との提携を実現するとの目標を掲げた。

「ベネ専門家 米軍の軍事展開は景気後退を生む」

ベネズエラ人経済専門家の Francisco Rodríguez 氏は、ラジオのインタビュー番組に出演。米軍によるカリブ海での軍事プレゼンスの拡大がベネズエラ経済にマイナスの影響を与えると指摘した。

特に外国投資、貿易、観光についてネガティブな影響を与えると指摘。

Rodríguez 氏は、国際線の減便について

「多くの国際取引が空便で行われている」

「国際線の減便により、国際取引に大きな影響が出ている」「また、ベネズエラとビジネスをしようとする外国人がいるとして、国際線がないのにどのようにベネズエラに行くことができるのか」

とコメント。

国際線の減便により、経済成長にブレーキがかかり、景気後退を引き起こすとの見解を示した。

「カカオ栽培可能地 50%がボリバル州に集中」

ボリバル州カカオ生産者商工会の Albe Gorrín 代表は、ボリバル州にはカカオ栽培に適した土地が豊富にあると説明。カカオ栽培に適したベネズエラの土地の約50%はボリバル州に集中しているとの見解を示した。

一方、Gorrín 代表は「ボリバル州のカカオ栽培は息を吹き返している段階」と説明。成長中の生産地域であると補足した。

Gorrín 代表によると、現在のベネズエラのカカオ生産量について年間20万～30万キロ。「かつては同州にも一定の生産量があったものの不正ルートで他州へ運ばれており、ボリバル州の生産量に組み込まれていない」と指摘した。

また、カカオ生産を強化するため、州として生産者を支援するプログラムを拡充していると説明。

具体的には

「カカオ栽培のための研修プロセスの実施」に加え、「作物を守るために衛生措置の遵守に関する監視体制の強化」

「国内産業を保護および病原菌の拡大を防ぐためカカオ栽培用の原材料の輸入の監視強化」

など州の取り組みを説明した。

「2025年の養鶏生産 前年比33.6%増」

「ベネズエラ全国養鶏連合会（Fenavi）」の Francisco Tagliapetra 代表は、2025年の養鶏生産について、前年比33.6%増と説明。

2024年は前年比14.8%増だったと補足し、着実に養鶏業は回復しているとの認識を示した。

Tagliapetra 代表は、

「生産インフラへの投資、技術革新、品種改良が進んでいる」「これにより育成から収益までの期間が短く、効率的になっている」と説明した。

ただし、2026年の生産量については、ベネズエラの経済情勢を理由に前年比15%増と成長スピードが減速するとの見通しを示した。

また、現在のベネズエラ人の鶏肉消費量について一人当たり年間32キロと指摘。2024年の23キロから増加していると説明した。

他、鶏卵の消費量については一人当たり年間168個で2024年の165個から微増したと説明した。

2025年12月9日（火曜）**政治****「MCM ノーベル平和賞受賞式の参加可否不明
～授賞式前日の記者会見は中止に～」**

12月10日（水曜）ノルウェー時間13時にノーベル平和賞授賞式がオスロで開催される。

前号「[ベネズエラ・トゥデイ No.1305](#)」で紹介した通り、MCM 氏は同式典への出席意志を表明しているが、12月9日時点で MCM 氏がノルウェーに到着しているかどうか不明な状況となっている。

12月9日（火曜）12時 オスロのノーベル研究所にて MCM 氏の受賞インタビューが予定されていたが、当日に同研究所の Erik Aasheim 報道官は、「本日のインタビューは実施しない」と発表。当日キャンセルとなった。

なお、Aasheim 報道官は「MCM 氏はオスロへの移動が極めて複雑なものになると語っている」「従って、現時点ではノーベル平和賞の授賞式にいつ、どのように出席するかについての情報は公表できない」と補足した。

MCM 氏が出席するかは不透明だが、MCM 氏の親族はオスロに集まっている。

MCM 氏の母親 Corina Parisca 氏、娘 Ana Corina Sosa 氏、姉妹 Clara Machado Parisca 氏らは12月9日の時点でオスロに到着している。

他、アルゼンチンの Javier Milei 大統領、パナマの José Raúl Mulino 大統領、エクアドルの Daniel Novoa 大統領、パラグアイの Santiago Peña 大統領らも授賞式に出席する予定となっている。

MCM 氏が直近で公に姿を現したのは2025年1月9日。仮にノーベル平和賞の授賞式に出席した場合は、約1年ぶりに公の場に姿を現すことになる。

なお、MCM 氏の SNS アカウントは12月6日を最後に更新が止まっている。

「米国軍用機2機 ベネズエラ空域に侵入」

12月9日 少なくとも2機の米国軍用機「F/A-18 Super Hornet」がスリア州北部のベネズエラ空域に侵入。ベネズエラ湾からマラカイボ湖へ接近した(本レポート1ページ目の画像)。

今回の軍用機のベネズエラ空域侵入は、これまでで最もベネズエラ領土に深く侵入した事例になる。

なお、現地メディア「Sumarium」によると、これらの爆撃機は追跡レーダーを遮断したため、その後の移動ルートは不明だという。

また、航空機のリアルタイム監視サービス Flight Radar 24は、同日朝に無人軍用機 MQ-4C「トライトン」がベネズエラ周辺の空域を飛行したと報告(下写真)。

「トライトン」はノースロップ・グラマン社製のドローンで、監視・情報収集・偵察用として設計されており、高高度でも広範囲の地域をカバーできるという。



(写真) Flight Radar 24

「国会 2026年度国家予算案を承認」

12月4日 デルシー・ロドリゲス副大統領は、国会にて2026年度国家予算案について説明。国会の予算承認を求めた(「ベネズエラ・トゥデイ No.1304」)。

12月9日 これを受けて、国会は2026年の国家予算案を承認した。

国会は与党が圧倒的多数を占めており、マドゥロ政権が立てた予算案を否決する可能性は皆無。予算承認にかかる議論は無く、セレモニーのような行事と言える。

経 済

「SUNDDE 小売店の為替レート表記を統一」

「価格統制庁(SUNDDE)」は、ベネズエラ国内の小売店で商品を販売する際に使用しなければならない為替レートの表記フォーマットを発表した。



(写真) SUNDDE

なお、為替レートは中央銀行が公表しているその日のレートを記載する必要がある。

また、横にあるQRコードはSUNDDEのクレームサイトにつながっている。

「マドゥロ大統領 輸出手続きの簡素化に署名」

12月9日 マドゥロ大統領は、非石油製品の輸出を促進するための輸出手続き簡素化規則に署名した。

マドゥロ大統領は、

「2025年の製造業の成長率は前年比8%増になる」「工場の稼働率は50%近くに達しており、2026年には60%超を目指している」

「我々は全てをベネズエラ国内で生産しなければならない」「外貨を節約し、輸入の大胆な代替を進めると輸入代替産業を育成する必要性を強調」

また「新たな外貨の収入源を生み出す必要がある」

「中国、ロシア、イラン、トルコなど巨大市場にベネズエラの商品を送る必要がある」「そのための道を整備する」「これまで輸出には120の手続きが存在したが、これを65まで減らした」

「これが中期的には、ベネズエラが持つ完璧な為替制度の安定化につながるだろう」

と言及した。

「トゥルヒージョ州の Ceiba 15 鉱井 稼働再開」

「全国炭化水素事業者協会連合（Fenegas）」の Bernardo Rausseo 常務は、産油量を拡大するためにトゥルヒージョ州の鉱井を再開させるとコメント。

長年休止状態にあった油井の内部を清掃・開放するために技術的な作業を行っている」と説明した。

初期段階として、Ceiba 15 鉱井は既に再開しており、「API 2 1 度の軽質原油を1日当たり2000バレル産油することを目標にしている」と説明した。

社 会

「ユネスコ “Joropo” を無形文化遺産に登録」

12月9日 「UNESCO (国際連合教育科学文化機関)」は、インドのニューデリーにて、無形文化遺産保護のための政府間委員会を開催。

ベネズエラの伝統舞踊と音楽「ホローポ (Joropo)」を無形文化遺産に登録することを決定した。Joropo については「[ウィークリーレポート No.424](#)」を参照されたい。

マドゥロ大統領は、テレビにて「本日、UNESCO はベネズエラの Joropo を無形文化遺産に認定した」「国民的なアイデンティティが世界的に認められたことに大きな喜びを表明する」と発表した。



Nueva inscripción en la lista del [#PatrimonioInmaterial](#): El joropo en Venezuela, República Bolivariana de Venezuela 🇻🇪.

¡Felicidades!

unesco.org/es/intangible-... [#PatrimonioVivo](#)



以上